

令和 8 年（2026）9 月 3 日（水）

広島市郷土資料館 館長 岡谷光展

担当：喜多村、田村

広島市郷土資料館 企画展

「『ごんぎつね』が語る昔の暮らし」



童話『ごんぎつね』は新美南吉の代表作で、小学校 4 年生の国語教材としても取り入れられているおなじみの物語です。本展では、物語の中に描かれる農村の人々の暮らしを収蔵資料や写真、クイズなどで紹介し、昔の暮らしや文化に関する理解・関心を深めます。あわせて、作者新美南吉の生い立ちや物語の舞台となった南吉の故郷も紹介します。

- 1 開催日 令和 8 年 9 月 5 日（土）～ 11 月 23 日（月・祝）
会期中の休館日：毎週月曜日（9/21、10/12、11/23 を除く）、9/24（木）、10/13（火）
※ 最新の状況は当館 HP、SNS 等でお知らせしますのでご参照ください。
- 2 開館時間 午前 9 時～午後 5 時（入館は午後 4 時 30 分まで）
- 3 入館料 大人 100 円（団体 80 円） 高校生◆1・シニア◆2 50 円（団体 30 円）
中学生以下無料
◆1 高校生および 15 歳に達する日の翌日から 18 歳に達する日以後の最初の 3 月 31 日までの間にある人
◆2 65 歳以上（年齢を確認できる公的証明書をご提示ください。） ※団体は 30 名以上
なお、11 月 3 日（月・祝）は大人・シニア・高校生とも無料
- 4 会場 広島市郷土資料館 2 階企画展示室（広島市南区宇品御幸二丁目 6-20）
TEL（082）253-6771 FAX（082）253-6772
- 5 主催 公益財団法人広島市文化財団 広島市郷土資料館
- 6 関連事業
・展示ガイド：毎週日曜日 14 時より展示の見どころをご紹介します。
・教室事業「『ごんぎつね』おはなし会」と「あんまき作り」
（実施日時：9 月 26 日（土）13:00～15:00）
・クイズイベント：土日祝（11/3 除く）限定。
参加者にオリジナルポストカードを配布します。
- 7 展示内容 別添展示構成およびチラシをご参照ください。

展示構成

1. こうして生まれた「ごんぎつね」

「ごんぎつね」の作者、新美南吉と物語の舞台となった愛知県半田市岩^{やなべ}滑について紹介。

【展示予定資料】 新美南吉肖像写真、「権狐」草稿（一部抜粋）（いずれも新美南吉記念館蔵）、
『赤い鳥』昭和7年1月号（復刻版）（当館蔵）など

2. 「ごんぎつね」のおはなしの前に

米の生産を中心とする農村のくらしと物語の舞台である「秋の収穫期」の様子を紹介。

【展示予定資料】 千歯こき、唐^{とう}箕、米俵など

3. 村の生活

物語に登場する情景を一部再現するなどし、ストーリーをたどりながら生活に関わる民具を紹介。

- 「とる」：兵十のうなぎ取りの様子を再現し、漁に関する道具を紹介。

【展示予定資料】 びく、待ち網など

- 「もてなす」：冠婚葬祭をはじめ、村で暮らす人々のつながりを紹介。

【展示予定資料】 八寸、講中の食器など

- 「あきなう」：行商に使われた道具を紹介。

【展示予定資料】 さおばかり、荷車など

- 「ゆきかう」：村を行きかう人々のいろいろな道具を身につけた様子を紹介。

【展示予定資料】 背^{しょい}負^こ子、蓑^{みの}、笠など

- 「すまう」：囲炉裏を中心とする居間を再現し、食事風景を紹介。

【展示予定資料】 かまど、羽釜、囲炉裏、飯櫃^{めしびつ}、火鉢など

- 「つくる」：夜なべ仕事や農閑期の作業に使われた道具を紹介。

【展示予定資料】 俵編み機、むしろ、わら槌など

- 「火縄銃」：物語の最後の場面で登場する火縄銃を紹介。

【展示予定資料】 火縄銃



4. 映像コーナー（上映時間 約 20 分）

DVD「新美南吉の生涯とその作品」（製作：新美南吉顕彰会）を上映し、
新美南吉が残した作品と彼の生い立ちについて紹介。

